

「観」の転換を ～学力向上担当者等研修会～

6月25日（木）、各校の学力向上担当の先生方を中心に研修会を行いました。

研修会では、「教師自身も学び続けること」をテーマに、昨年度学力を伸ばした学校の実践を紹介していただいた他、自己の「観」を確認する演習を行ったり、自分たちでテーマを柱建てして協議を行ったりしました。



実践紹介

南会津町立館岩小学校

「一人一人を大切にしたい学習環境づくり」

「親和的な集団づくり」のための学級経営や、児童一人一人の実態に寄り添った授業づくりについての実践を紹介していただきました。

ぜひ、校内でも共有を！

「学力の伸びを引き出した学校の取組事例集 第5号」もご覧ください。

実践紹介

南会津町立南会津中学校

「自己理解につながる家庭学習の実践」

生徒が主体的に家庭学習に取り組むことができるような仕掛けや、「自身の考えがよりよいものに高まった」と実感できる対話を目指した実践の紹介をしていただきました。



演習

学力向上に向けて”自身が”大切にしたいこと

学力向上に向かう先生方一人一人の”観”はそれぞれです。先生方がもつ多様な”観”を共有し、実践に生かしていくことが子供たちの資質・能力の向上につながるのではないのでしょうか。

カードによる演習は、自分の”観”を確認することだけではなく、多様な”観”に触れる機会になったようです。

※ 使用したカードは、南会津教育事務所HP「学校教育課（指導担当）」「域内学力向上担当者等研修会」にアップロードしています。

協議

子供たちの学力向上に向けて

研修者の感想

協議では課題に対する解決策まではたどり着きませんでしたが、校内において実践をもとに先生方全員で解決策を見つけていきたいと思いました。

協議やグループワークを通して、協働や対話のよさを先生方と共に実感し、観の転換を図ることが、普段の授業改善や研修の推進の近道だと感じました。

校内研修を充実させ、先生方一人一人の資質・能力の向上や自校の課題解決を！

